

## 水素製造出荷センターの開所について

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、本日、本牧事業所(神奈川県横浜市、本年3月1日設置)に、「水素製造出荷センター」を開所しましたので、お知らせいたします。

この水素製造出荷センターは、LPGを原料に水素を製造し、当社の首都圏におけるオフサイト水素ステーションおよび移動式水素ステーションに水素を供給します。これにより、首都圏において、水素の「製造」・「輸送」・「販売」の効率的かつ安定的な水素供給サプライチェーンが構築されます。なお、本センターの運営は、株式会社ENEOS水素サプライ&サービス(社長:吉宗 雅史)が行います。

当社は、次世代自動車振興センター「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」の採択を受けて、四大都市圏に約40カ所の商用水素ステーションの開所に向けた準備を進めております。これまでに東京、神奈川、埼玉、千葉、愛知、京都、大阪、福岡に29カ所の水素ステーションを順次開所し、水素販売を開始しております。

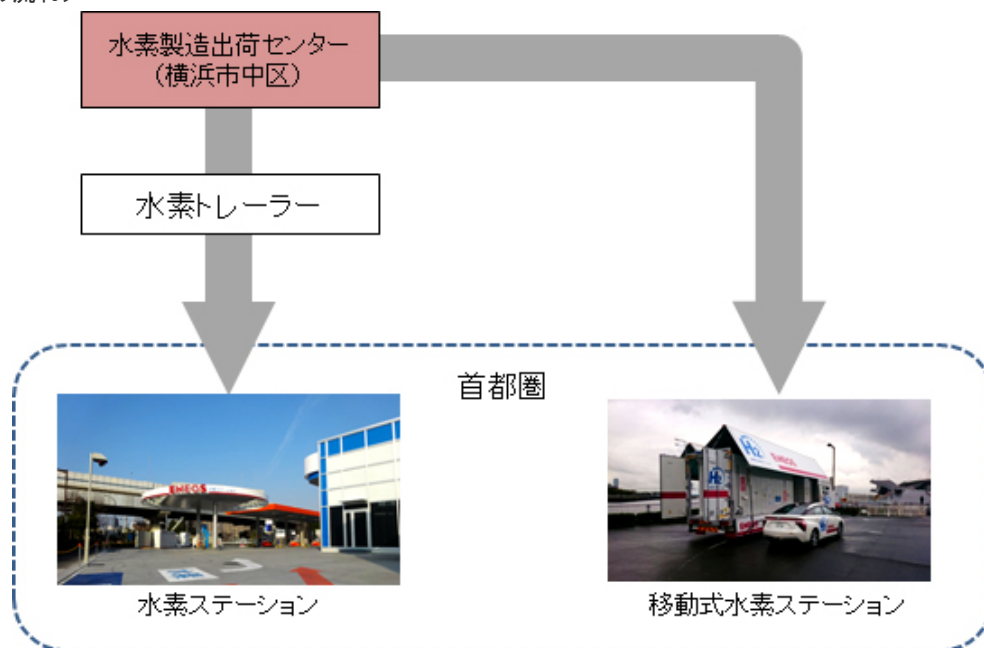
当社は、今後とも水素製造ならびに自動車用燃料供給に関わるインフラやノウハウを活かし、水素社会の実現に向けて貢献してまいります。

### 【水素製造出荷センター概要】

開所日	2016年3月18日(金)
所在地	神奈川県横浜市中区千鳥町8番地(本牧事業所内)
運営者	株式会社ENEOS水素サプライ&サービス
敷地面積	8,688m <sup>2</sup>
水素製造能力(※1)	600Nm <sup>3</sup> /h

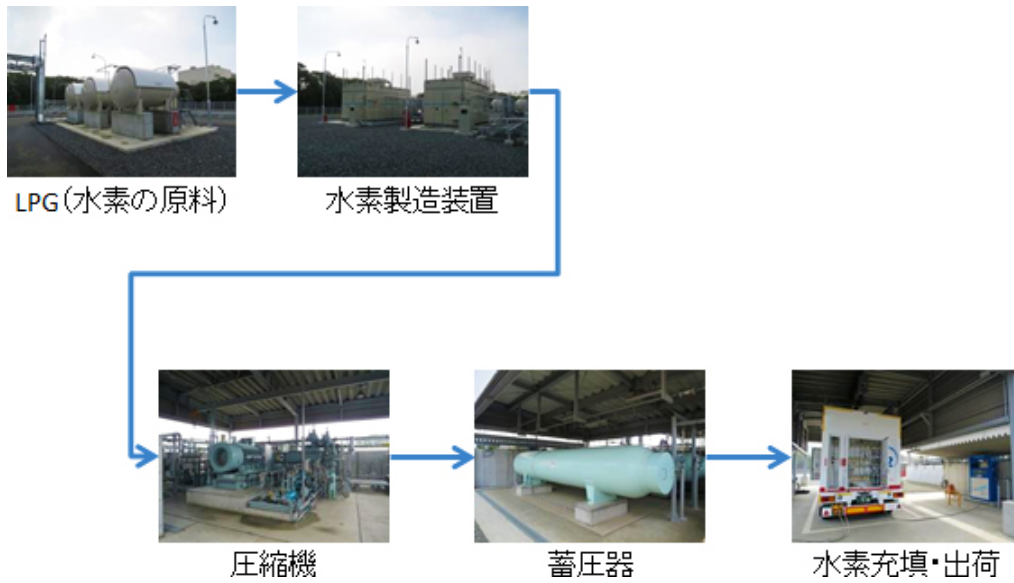
※1 燃料電池自動車1台に充填できる水素量が50Nm<sup>3</sup>の場合、1時間当たり約12台に充填可能な能力。

### <水素供給の流れ>



### <水素製造出荷センターの構成>

LPGを原料に水素を製造し、製造された水素は、圧縮機で昇圧され、蓄圧器で蓄え、水素トレーラーや移動式ステーションに充填されます。水素トレーラーは、水素ステーションへ水素を供給します。また、移動式ステーションは、運用場所へ向かい、そこで、FCVへの水素の充填を行います。



<テープカットの様子>



(左から)

日本石油輸送株式会社 代表取締役社長 森田 公生 様  
 鹿島建設株式会社 常務執行役員横浜支店長 野村 高男 様  
 株式会社ENEOS水素サプライ&サービス 代表取締役社長 吉宗 雅史 様  
 JXエネルギー株式会社 取締役 常務執行役員 新エネルギーカンパニー・プレジデント 西島 弘也  
 JXエネルギー株式会社 常務執行役員 中央技術研究所長 五十嵐 仁一  
 株式会社日立製作所 執行役常務 電力・インフラシステム営業統括本部長 川野 薫 様  
 向陽電気工業株式会社 代表取締役社長 大野 賢正 様

以上